

昭和二十年一月三十一日

兵器引継(返納)目録

第十三飛行師團

陸軍

248

0604

陸軍

要

摘

員數

目

品

三八式歩兵銃

異六

同 實 包

三八〇

同 彈 入

異六

三十年式銃劍

異六

同 劍 差

異六

同 帶 革

異六

右之通借用兵器返納ス

昭和十一年一月三日

第十三飛行師團兵器部長陸軍中佐井上静雄

以上軍械以記

陸軍中佐 井上静雄

0606

品	日本	陸馬	目	乘馬	轆馬	種	別	計
			一五	一〇		雄雄雄雄	二一 一四	二五 （四二五八百音） （接收済）
			六七				一六 一五	六七

右之通引継ス

昭和二十一年一月三十日

第十三飛行師團兵器部長 陸軍中佐 井上静雄
 空軍第一地勤中隊分隊長 三上久良

(附本二)

陸軍

0608

東馬嶺新書

高嶺迄 第一夜行節更甚也 戰後

正清 采正此 取馬八匹 支取馬

是馬年月日 昭和三年三月一日 時

初夜年月日 昭和三年三月一日 時

痛急 腹膜炎

前夜、一、野女之受領途中、赤痛赤赤ヲ發シ全身發

テシ腹氣腫倒シ逆以因難腹診スルモ首不明口中乾燥シ舌

ヲ嚙ムシ結膜充血シキマールトシ是シ症狀悪化診察ニ努ムニ之輕

快也 十日二十日午三時 腹一初膨滿ニシテ体リ空腸術ヲ實

施人經過稍ニ良トナリ休ニテ 部隊ニ於テ診察セシム

宗揚部リ上軍實ニシテ氣熱地熱シ体温四一度ニ上リ又七症

狀ヨリ良多ニシトナリ 腹膜炎ト診断ス

別隊取軍 是等ニシテ劇烈ニシテ 在場中 胃榮養不足 寒冷ニ

強クシ結膜通潤潮紅、鼻粘膜ニ粘膜ナリトモヤクモシテ、
 三回ニ下リテ、腹筋膨脹、此以聞ク
 腹筋檢査、腹腔ヲ均開スルニ腔ハ暗赤稍シ多量、滲液ヲ
 含有シ、腹膜下ニハ、多多数、赤血斑ヲ認ム
 小腸ハ一般ニ黄赤色ヲ帶ビ、多多量、以以察テ下ニ然ニ膨脹シ
 多数、赤血斑ヲ認ム粘膜前ハ暗赤色、赤赤ヲ表シ、著著明
 ナク、意意圖ヲ認ムニ腸水ハ豊富ニ、各各ハシシ、此此、認認ム腸間
 膜、其其、指指シ、腫腫脹ス、有有腸穿孔、其其、黄黄褐色シ
 水、膿膿、腹腹腔ニト、量量、腹腹水、可可シ、深深ク、含含有ス、腹腹膜肥
 厚ス、以以上、認認シ、其其、腹腹膜、主主ト、診診断ス

昭和十年三月一日

主在陸軍發醫少尉古澤十一郎

(納谷典・京東)

0611

陸軍

發馬診斷書

新發馬診斷書 第三號 飛田師團第四連發馬隊

馬名 十號 鹿毛 支那馬 栗毛

診察年月日 昭和九年七月九日 時辰 未

診察場所 飛田師團第四連發馬隊

病名 腸炎

病歴 大要 七月九日一時頃 腹瀉 腹痛 於此亦痛 症狀

二月 翌朝 腹瀉 吐者 下血 有膿 疼痛 劇甚 七月

九日 之 頃 至 吐 狀 亦 漸 增 意 思 覺 不 安 腹 具 有 膿 液 此

食 片 可 流 至 同 九 時 五 分 形 狀 亦 漸 更 之 遂 之 變 厄 之 至 也

臨 床 上 復 診 之 症 併 予 腸 炎 予 診 斷 之

剖 檢 於 腹 外 具 檢 查 冠 狀 之 切 斷 取 予 俾 表 現 腹 強 未 4 完 全

十 五 分 以 後 粘 膜 帶 炎 甚 自 色 多 呈 黃 色 附 近 之 腹 具 下 止 於 腹

予 附 着 之 肚 間 以 關 之 左 葉 前 之 長 寸 三 秒 毫 毫 切 割 創 有 之

此系核査以下通潤シ最富病分余獨色觀有リ腹壁ヲ
 叩撃シ腹見ヲ放ケ粗大原片ヲ建テ又尺腸也一團腸也
 邊ヲ充満シ殊ニ胃ノ前腸腸膜淋淋ニ食片ヲ在リ腹膜ノ不潔
 腸者ニシテ上腹至直腸ニ至シ止食片ヲ着着ト腸壁液膜面
 全腹ノ腸環恒起シ所ニ粟粒大及ト豆大ノ膿液下出直有リ其
 上腹ノ一腹正白也ニシテ充満シ水方多シ腸腸筋六ト兒頭大
 ノ硬結部有リテ腹固水方多シ腹音有リ前下下結部一
 又下下腹正白也ト入二ノ利一也腸外模下ニ至然ト出直ヲ
 表發心筋ノ正白也認名トシテ團腸肥變不節腸炎也
 八總州下至多管管枝粒模ト出直ノ散散之以上ノ計見ニ基キ
 週百便社ニ繼發之腸炎ニ係リ疑死也ト診断ス

此ノ年七月九日

主任 藤原 漢 醫士 刻 古 澤 十 一 郎

敵死馬診断書

第十三飛行師團司令部

旭寺 粟毛 騎 駄馬八歳 大陸馬

昭和三年六月三十日 敵死

病名 過勞

病歴

本馬ハ榮養失調トシテ長期間休業セシ補々榮養向
上ス依ツテ年末ノ使役ヲナセリ十月十九日(前日雨天)悪路ノタメ
使役ニ堪ヘズ倒臥セリ

當時ハ体温下降シ脈細弱ニシテ一分間ニロトナリ呼吸セスカナル
リンゲル液ノ注射ヲナシ呼吸心音ハ暫次回復スルモ思ハシカラス
第二回ノリンゲル注射ニ依リ起立スルモ運動緩慢短節強拘不
確ニシテ愈々之文穴蹠跌シ易シ

既ニ歩行セズ安靜ニセシム十九時再ビ横臥シ反射機能ナシ
依ツテ同治療ヲナシテ翌十六時敵死ス

0614

剖檢心臟著シク少シニテ濁強變性粟粒大ノ出血斑點アリ心冠

部ハ腺様變性ス

胃腸ハ血液ニ染ミテ蒼白ニシテ全般ニ薄ク不透明ニシテ内容

少且重ナリ

大結腸ハ百余リ蟻虫アリ

腎出血顕著ナリ膀胱ハ多量ノ尿ヲ有ス

以テ總合シテ過勞ト診斷ス

主任 陸軍獣醫少尉

古澤 十一 印

(納谷島・京東)

0615

陸軍

賽馬診斷書

第十三飛行師団第六十七飛行場中隊

病名急性胃拡張 馬名龍一

昭和三年十月八日奔病 同年十月九日斃死

此大陸馬八歳芦毛 駁馬滿洲馬

病歴

本馬ハ八時頃放馬之馬糞庫旁ヲ飽食ス八時頃頭ヲ下垂シ

時々臥セテ又 体温三九八呼吸音ニテ全身奔行 歩行踉蹌ト

シテ伏臥セントス 結膜及口粘膜ハチアノセヲ 足ニ流涙ス 頸部ヲ

下垂シ嚙索ハ頻度ニテ頸部ヲ伸長ス 二段呼吸ヲテ 排尿

排糞ナシ 腸蠕動音ハ大腸ニ於テ聽診ニ得ルモ小腸ハ聽診ニ

得ズ 依テ腹部ヲ按摩ニ經投ニ依リリトテ人カレ五リヲ投與

ガキタニシテ下注射スルモ腹細弱ニテ遂ニ醒知ニ得ズ 頸靜

脈ヨリ五リニ採血スリンゲル注射ヲテ

前塔ヲナレ腹部ヲ 酌量ニ遂ニ權臥増々呼吸困難ヲ呈スガキタニ

ニ注射ヲナシ監視ヲテテ九日午前二時体温三、五脈三〇呼吸七〇ニシテ、病狀増々増悪シ三時十五分瘳死ス

剖檢所見外鏡皮下 死体一般ニ栄養良好ヲ表現シ右側臥ニシテ皮膚

老次ヲ失ス皮下ハ血液ニ富ミ濕潤ス 胃膨満ニ血液ニ充

ニシテ其色白ニシテ血管ハ圧迫ガ大ニ添ヒ胃破裂ガ多ク見ス

死後胃破裂ト認ム内容麥粒ヲ充滿ニ隣隣ニ胃底部

ニ於テ粟粒大ノ出血斑點ヲ多數發ス幽門部ハ十二指腸ノ容

充滿ニ逆流ス肺充血ニ血液多量ニテ水中ニ浮ブ血液ハ凝

固シ全心臓左右心室共ニ流動血液アリ以上ヲ總合シ急

性胃拡張ニ依ル室息ト診斷ス

主任陸軍獣醫士尉 古澤十(印)

(納谷處・京東)

0617

陸軍

鑓馬診斷書

第一五番行前團第四百六十六番之鑓馬

浦島之成 栗尾 栗尾 日本馬種

明治三十四年十月十四日二時 鑓死

明治三十四年十月十五日九時 剖檢

腸便死ニ依リ破裂

剖檢ノ概要 剖檢ニ付 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ 腸管ニシテ 腸管ノ一端ニ

0618

之之シナフニシテ幾死ス

別見河見 其後檢査處体ニシテ劇臥シテ受養士等ニ氣冷死

後其分是全ク云 肺膜黒腫鮮紅鼻粘膜ニ粘膜ナリノセリ定シト

ニヨリ外ニシテ腹筋腹膜ニ粘膜ナリ

ニ素檢査體空ヲ切開ルニ腔中ニ暗赤色多量滲液ヲ含有

シ腸袋粘赤色暗赤色ヲ帶シ殊ニ變態ニ六七五ノ腸本区班ヲ認

辨官ハ白クシテ之其動脈シテ之變態ニ紙維ヲ附着ニ後腸管膜前

ニ後胃ノ粘膜過リテス腹腔ノ腔濁赤クヲ認着ス

胃膨脹シ切開ニシ積水分ニ富ミタル葉ヲ見テ其指腸部粘

膜ハ白クシテ粘膜面粗粒ナル部ヲ来スニヨリ以降ハ粘膜赤色ヲ帶

小腸多量ノ内容ニ以テ之ニ其粘膜面シ漿液面ニ多數ノ赤血斑

ト見ラ認ハ切開ルニ暗緑色多量ノ粘膜ナル粘液ヲ含有シ滲潤ス

粘膜 粘膜ハ動脈ノ粘膜ヲ以テ之ニ粘膜トシテ之ニ粘膜トシテ

(納谷典・東京)

陸軍

著ク水介ミシク固塊ヲナク横行結腸ハ長サ四〇釐ニシタル不
過ニテ内容酸臭ヲ放テ血液ヲ混シタル五六近クノ糞塊ヲ腹腔
ニホス直腸ハ空虚ナリ

肝臓ハ腹腔後部断面血液ニ富ミ潑濁膨隆小葉像不明ナリ
脾臓ハ前斗断面ハ帶褐色暗赤色ニ染下明ナリ

心臓 流動血液多量ニシテ心外膜下ニ多量ノ出血アリ
肺臓 暗赤色ニ染縮不全氣管枝粘膜下ニ点状出血ヲ散

發ス

右症狀ニ依リ結腸破裂ト診断ス

主任 陸軍 獸醫方尉 古澤十郎

(附録第一・東京)

0620

陸軍

要

乘品

馬

具

目

員數

摘

三五組

内三五組一月三日接收済

右之通引継又

舊品

昭和三十一年一月三十一日

第十三飛行師團兵器部長 陸軍中佐 井上静雄

空軍第一地勤中隊長 塚本 隆

塚本 隆

0620-2

陸軍

品

轡

馬

具

八二組

在
心

目
員
數
摘

要

右之通引継ス

昭和三年一月三十一日

第十三飛行師團兵器部長陸軍中佐井上静雄

空軍第一地勤中隊分隊長

静雄

0622

副本 (一)

陸軍

要

品	目	員數	摘
獸醫行李	一組	別紙第一ノ如シ	
野戰蹄鐵工具	一組	第二ノ如シ	
獸醫携囊	一組	第三ノ如シ	
馬療囊	二組	第四ノ如シ	
携帶蹄鐵工具	一組	第五ノ如シ	
瓦秤	一個		
風車式	二個		
鐵床	二個		

右之通引継ス

昭和三年一月三日

第十三飛行師團兵器部長陸軍中佐 井上靜雄
 空軍第一地勤中隊上尉一級軍醫 周 遜 敬

0626

(昭和十三・七・大橋新)

0627